

# ミクロネシア3国の海上保安能力強化支援 事業概要



2013年2月8日(金)

# 目次

1. 背景と問題点
2. 検討の経緯
3. 事業の目的、目標
4. 事業内容
5. 事業実施体制
6. 参考資料

# 1. 背景と問題点

- ◆ ミクロネシア3国(パラオ共和国、ミクロネシア連邦、マーシャル諸島共和国)は広大な排他的経済水域(EEZ)を有するが、これら海域を適切に管理するための海上保安能力が極めて脆弱な状況である。
- ◆ 中国によるミクロネシア3国のEEZへの進出の動きや、アメリカ政府高官の太平洋島嶼国歴訪などに見られるように、この地域の海洋安全保障上の重要性が一段と高まっている。
- ◆ こうした状況下、日米を始めとする関係国の連携・協力の下に、太平洋島嶼国における海洋管理能力を向上させるための諸施策に支援が求められている。

## 2. 検討の経緯

### ① 契機

2008年4月の笹川会長とマーシャル諸島大統領との会談を契機に検討が開始され、2008年「第8回 ミクロネシア大統領サミット」でも「日本からの支援を歓迎する」旨を表明。

### ② 支援内容に関する関係国「官民合同会議」の開催

#### ■ 関係国(6国+2NGO)

ミクロネシア3カ国(パラオ共和国、ミクロネシア連邦、マーシャル諸島共和国)、  
日本(海上保安庁)、アメリカ(USCG)、オーストラリア、  
日本財団、笹川平和財団

#### ■ 2010年3月 : 第1回会合(東京)

- ・調査に基づく支援計画を発表、議論

#### ■ 2010年6月 : 第2回会合(グアム)

- ・支援計画の修正案を専門家により議論

#### ■ 2010年11月 : 第3回会合(パラオ)

- ・支援項目を合意。2011年度から順次実行で合意

### 3. 事業の目的、目標

- ◆ 本事業を実施することで、ミクロネシア3国及び太平洋地域において、違法・違反船舶に対する適切な取締り能力及び人命救助や災害時の対応能力を充実させ、より安全で秩序ある海域にすることを目的とする。
- ◆ 現在、唯一稼働しているパトロール・ボート(30m型。1980年ごろ製造。オーストラリアの寄贈)は主としてEEZ内の遠距離海域での取締り等に専従しており、沿岸域の海上保安業務執行が困難な状況であるため、本事業で小型艇を供与することにより、沿岸域の海上保安能力の向上を目的とする。
- ◆ 海上での業務実施のために必須である通信能力を向上させることにより、より効果的に海上保安業務を執行できるような体制を整えることを目指す。

## 4. 事業の内容

### (1) 装備・施設の供与

パラオ会議で合意された支援項目のうち、早急な支援が必要な重要項目で、相手国と調整・合意できた、以下の装備・施設について、迅速な支援を実施する。

- ① 小型艇の供与(各国1隻、15m型、多用途、沿岸業務用)
- ② 通信設備の改善(HFアンテナの新替、VHFレピータ(中継器)の新設、衛星通信装置の導入)
- ③ 非常用発電機の供与(パラオのみ)

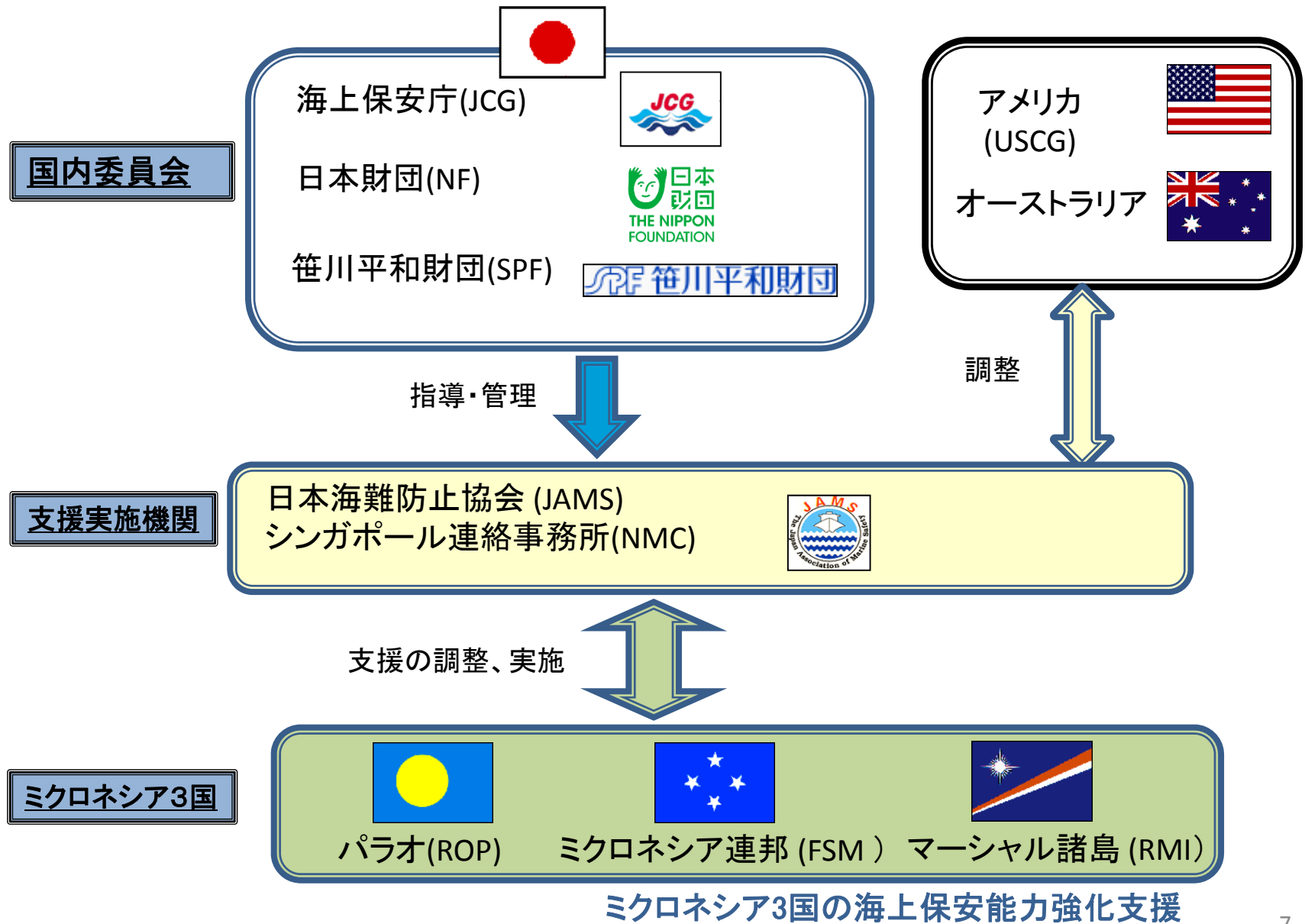
### (2) 運用コストの供与

また、上記の装備・施設が、一時的な供与に終わることなく、長期的に適切に活用されるよう、以下の運用コストの支援を実施する。(2020年3月まで継続予定)

- ① 小型艇の燃料費の供与
- ② 小型艇エンジンの定期交換部品等の供与、高度な整備作業の直接指導
- ③ 「地域合同取締」参加時の燃料費補助
- ④ 衛星通信料の供与

\* パラオ会議で合意した支援項目のうち、「ミクロネシア地域の業務調整センター設置」及び「遠隔地の燃料タンク設置調査」(カピンガマランギ環礁)は、上記支援措置の実施後に検討する。

# 5. 事業実施体制



## 小型艇の例



### 【主要目】

- 長さ: 約15m
- 総トン数: 約12トン
- 最大搭載人員: 約14名
- エンジン要目:
  - 最大出力: 約650馬力
  - エンジン基数: 1基
  - 軸数: 1軸
- 最大速力: 約30 ノット
- 常用速力: 約20 ノット
- 航行距離: 約400海里 (2/4出力)



# 小型艇の主な搭載設備

## 【設備の一例】



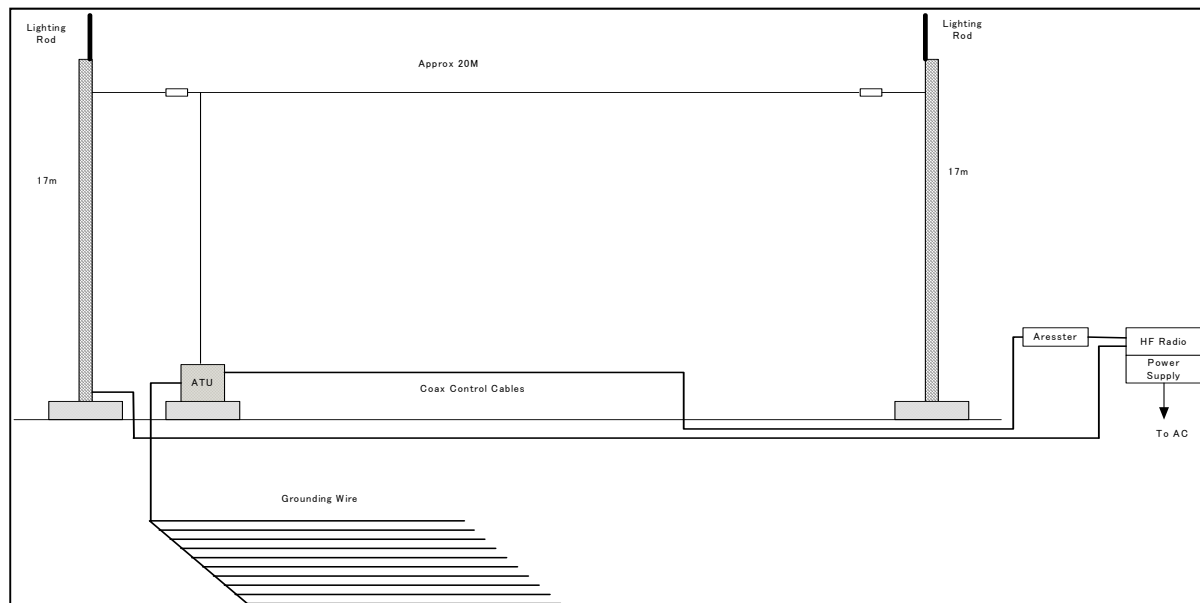
- ・レーダー
- ・電子海図
- ・GPS受信機
- ・測深装置
- ・統合航海計器
- ・HF/VHF 無線送受信機
- ・衛星通信装置
- ・救命胴衣、EPIRB
- ・探照灯(サーチ・ライト)
- ・傷病、救助用具

# 通信設備の改善

## ■短波用(HF)通信施設(ミクロネシア、パラオ)

- ・広帯域ダイポール型アンテナの建設
- ・無線機の換装、出力増強( 150W → 250W )

【アンテナ展開図】



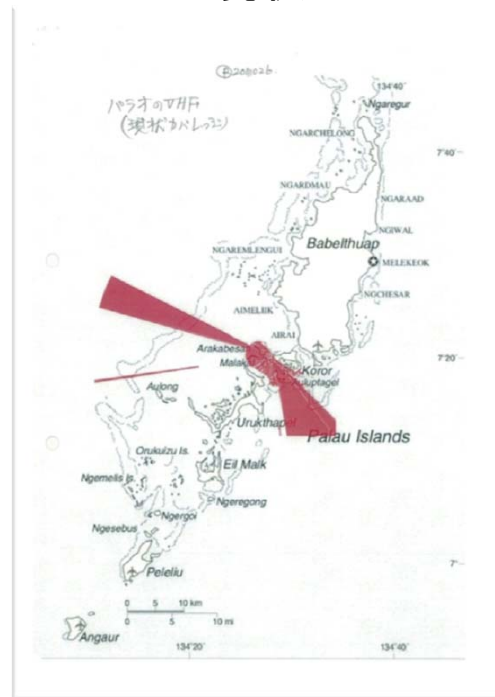
# 通信設備の改善

## ■超短波用(VHF)通信施設 (ミクロネシア、パラオ)

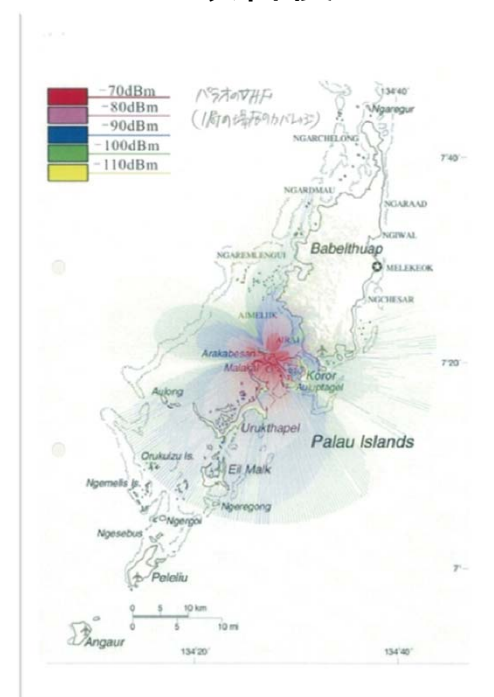
- ・山の上にリピータ(電波中継装置)を設置

### 通信範囲の改善シミュレーションの例(パラオ)

現状



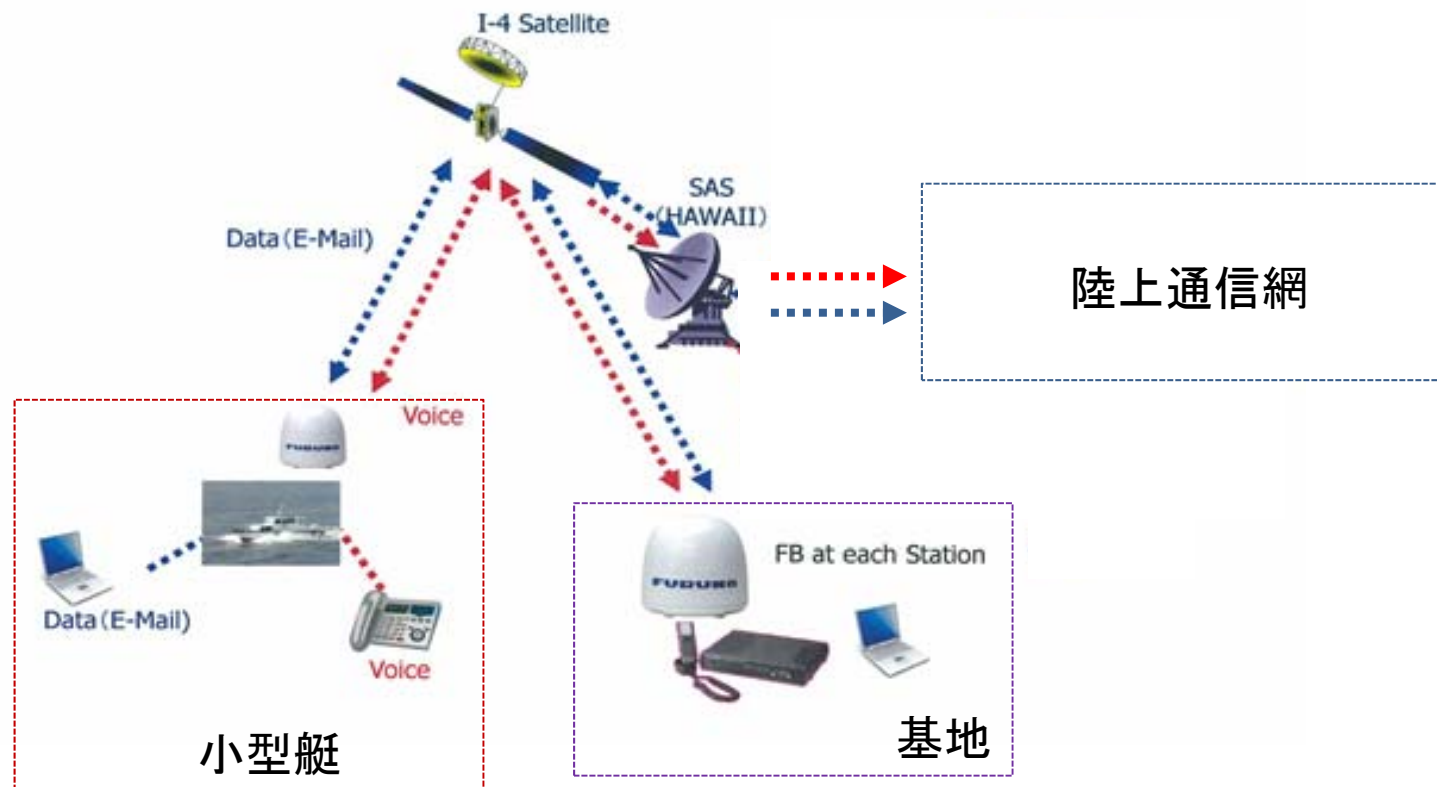
改善後



## 通信設備の改善

### ■衛星通信装置の導入(ミクロネシア、パラオ、マーシャル)

- ・小型艇と船艇基地に衛星アンテナと通信装置を設置  
(場所に関係なく常に安定した秘匿のある通信)
- ・一定の衛星通信料を供与(2020年3月まで)



## 非常用発電機の供与(パラオのみ)

(参考例)



# ミクロネシア3国のEEZ

